

憲法を くらしに 活かす

県民の願い実現の県政へ

2月17日から3月24日に開かれた定例県議会。老人医療費助成の廃止など、県民いじめの「行革」を進める知事提案の新年度予算案に対して、日本共産党県議団は、県民のくらし優先の予算を求めて、予算の組み替え提案や、質問・討論を行いました。この夏には、県知事選挙が行われます(7月2日投票)。

日本共産党県議団は、憲法をくらしに活かし、県民の願いがかなう県政実現のためがんばります。



ねりき恵子



いそみ恵子



きだ結



庄本えつこ



入江次郎